

第1版： 2022年 1月10日作成

だいのかまぶ ぜんずがいていぶ ずいまくしゅ
当院において大脳鎌部及び前頭蓋底部の髄膜腫、

もやもや病の治療を受けられた方およびそのご家族の方へ

—「大脳鎌部及び前頭蓋底部の髄膜腫、もやもや病における前大脳動脈硬

まくし
膜枝の関与に関する検討：多機関共同研究」へご協力をお願い—

【研究課題名】

大脳鎌部及び前頭蓋底部の髄膜腫、もやもや病における前大脳動脈硬膜枝の関与に関する検討：多機関共同研究

【研究の対象】

2013年1月1日～2021年12月31日の間に大分大学医学部附属病院および本研究の共同研究機関で大脳鎌部と前頭蓋底部髄膜腫、もやもや病の脳血管撮影検査を受けられた方を研究対象とします。

【研究の目的・方法について】

前大脳動脈は主に前頭葉の脳に血流を送りますが、脳を包む硬膜である大脳鎌や前頭蓋底の硬膜に血流が豊富な病変が発生した場合に、その病変に前大脳動脈から血液が送られることがあります。こういった、脳動脈から硬膜に繋がる血管のことを脳動脈の硬膜枝と呼びますが、前大脳動脈の硬膜枝はほとんど存在が知られておらず、今までの論文での報告はごくわずかです。

髄膜腫は頭蓋内の硬膜から発生する良性脳腫瘍であり、その中の一部が大脳鎌や前頭蓋底の硬膜から発生します。一般的に髄膜腫は脳動脈ではなく、硬膜に血液を送る血管から血液を受け取りますが、大脳鎌や前頭蓋底の硬膜に発生した髄膜腫の場合は、脳動脈の1つである前大脳動脈から血液を与えられることも多いです。ただ、前大脳動脈から血液を送る際の動脈の詳細は分かっていません。

また、もやもや病は内頸動脈終末部が徐々に狭くなり、最終的に閉塞して脳梗塞などを来す病気であり、進行すると自然に硬膜動脈から脳表の動脈への血管の繋がりが発達します。内頸動脈から分岐する前大脳動脈の血流が悪化した場合に、大脳鎌や前頭蓋底の硬膜血管と前大脳動脈の間に新たな繋がりが見られることがありますが、その場合にどのように繋がるかといった詳細は分かっていません。

本研究の目的は、大脳鎌や前頭蓋底の硬膜に発生した髄膜腫に血液を送る大脳動脈からの硬膜枝と、もやもや病における大脳鎌や前頭蓋底の硬膜から前大脳動脈への血管の繋がりとしての硬膜枝を画像上で解析し、この硬膜枝の走行や前大脳動脈との関係など

の特徴を明らかにすることです。

研究期間：2022 年 2 月 21 日～2022 年 12 月 31 日

【使用させていただく情報について】

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別、症状
- ・ MRI、脳血管撮影検査の検査データ

なお、本研究に患者さんの情報を使用させていただくことについては、大分大学医学部倫理委員会において外部委員も交えて厳正に審査・承認され、大分大学医学部長の許可を得て実施しています。また、患者さんの情報は、国の定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に従い、匿名化したうえで管理しますので、患者さんのプライバシーは厳密に守られます。当然のことながら、個人情報保護法などの法律を遵守いたします。

【使用させていただく情報の保存等について】

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後または研究結果の最終の公表後 10 年間、各共同研究機関で厳重に保管されます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得た上で利用します。廃棄の際には、個人情報に十分注意して、電子情報はコンピューターから完全抹消し、紙媒体（資料）はシュレッダーにて裁断し廃棄します。

【外部への情報の提供】

本研究の共同研究機関である岡山大学病院および久留米大学病院への患者さんの情報の提供については、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。なお、共同研究機関へ提供する際は、研究対象者である患者さん個人が特定できないよう、氏名の代わりに記号などへ置き換えますが、この記号から患者さんの氏名が分かる対応表は、大分大学医学部の研究責任者が保管・管理します。なお、取得した情報を提供する際は、記録を作成し大分大学医学部放射線医学講座で保管します。

情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

大分大学医学部附属病院放射線科 徳山 耕平

【研究組織】

【本学（若しくは本院）における研究組織】

	所属・職名		氏名
研究責任者	大分大学医学部附属病院放射線部	准教授	清末 一路
研究分担者	大分大学医学部放射線医学講座	助教	島田 隆一
	大分大学医学部附属病院放射線科	病院特任助教	宮元 里美
	大分大学医学部附属病院放射線科	病院特任助教	徳山 耕平

【研究全体の実施体制】

研究代表者 大分大学医学部附属病院放射線部 准教授 清末 一路

共同研究機関・研究責任者

岡山大学脳神経外科 助教 平松 匡文
久留米大学放射線科 准教授 田上 秀一

【患者さんの費用負担等について】

本研究を実施するに当たって、患者さんの費用負担はありません。また、本研究の成果が将来医薬品などの開発につながり、利益が生まれる可能性があります。万一、利益が生まれた場合、患者さんにはそれを請求することはできません。

【研究資金】

本研究においては、公的な資金である大分大学医学部放射線医学講座の寄附金を用いて研究が行われ、患者さんの費用負担はありません。

【利益相反について】

この研究は、上記の公的な資金を用いて行われ、特定の企業からの資金は一切使いません。「利益相反」とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭および個人の関係を含みますが、本研究ではこの「利益相反（資金提供者の意向が研究に影響すること）」は発生しません。

【研究の参加等について】

本研究へ診療情報を提供するかしないかは患者さんご自身の自由です。従いまして、本研究に診療情報を使用してほしくない場合は、遠慮なくお知らせ下さい。その場合は、患者さんの診療情報は研究対象から除外いたします。また、ご協力いただけない場合でも、患者さんの不利益になることは一切ありません。なお、これらの研究成果は学術論文として発表することになりますが、発表後に参加拒否を表明された場合、すでに発表した論文を取り下げることはいたしません。

患者さんの診療情報を使用してほしくない場合、その他、本研究に関して質問などが

ありましたら、主治医または以下の照会先・連絡先までお申し出下さい。

【お問い合わせについて】

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住 所：〒879-5593 大分県由布市挾間町医大ヶ丘 1-1

電 話：097-586-5934

担当者：大分大学医学部附属病院 放射線科 病院特任助教

徳山 耕平（とくやま こうへい）